

# 東京四極だより

【書：篠田直雄 東京四極会初代理事長・昭和3年卒 高商4回】

<http://www.tokyoshiwasukai.jp/>

発行者 姫野易之  
責任者 奥川隆生  
責任者 野川隆生  
責任者 易生会  
責任者 東京四極会  
発行所 東京四極会  
〒103-0007  
東京都中央区日本橋浜町3-45-3  
浜野野島ビル5F 浦崎税理士事務所内  
TEL/FAX: 03-5641-1542

## 平成二十四年度 東京四極会 定時総会開催!

6月2日(土) 12時か

### 定時総会議事 財政基盤の充実が喫緊の重要課題

ら51名の会員参加を得て渋谷区の新日鐵代々木倶楽部において本年度の定時総会を開催した。司会担当は遠藤事務局次長(第47回)。野村副理事長(第52回)の開式の辞のあと、姫野理事長(第44回)が挨拶した。

#### 姫野理事長挨拶

「本日は私の同級生44年卒と46年卒のメンバーが多く参加してくれた。また、昭60年卒の小林さんの勧誘努力で中堅会員の皆さんも比較的多く集まってきた。総会として議事に入らせていただく」



その後、有松監事(第39回)から「5月21日の監査の結果、帳簿並びに証票の処理は的確かつ適正に処理がなされている」と報告があった。有松監事は「会費納入会員数がこのところ激減傾向にあり、このままでは東京四極会の積極的な活動ができなくなる。大先輩

まず姫野理事長が「平成23年度の活動報告」を引き続き米井事務局次長(第54回)が「同年度の決算案(別紙)」の提案を行った。

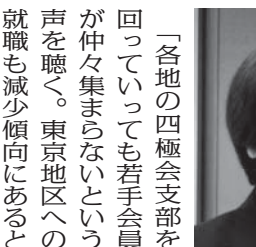
会員の引退、首都圏への就職数の減少、価値観の変化などが背景にある。同期会は比較的活発になされている年代もある。このように動きを同窓会活動に接続していただく工夫も必要かと思う。同窓会の会費納入は母校への恩返しと考えていただき、財政確保の輪を広げていただきたい」とコメントした。23年度の活動報告と決算案は満場一致で承認された。



相良四極会会長ご挨拶

「各地の四極会支部を回っていても若手会員が仲々集まらないという声を聞く。東京地区への就職も減少傾向にあると私たちも認識している。現在、約5割の学生が県内就職を希望している状況だ。できるだけ多くの学生たちに、県外にでて日本を背負っていく経済のなかに飛び込んでいかないとという指導を続けているところだ」

乾杯の首頭は高橋副理事長(第45回)が担当。



「各々の健勝を祈念して高らかに乾杯した。」

懇談の中では、衛藤晟一参議院議員が熱い思いで政局報告をし参加者の耳目を集めたのち、今回最年長参加者(満88歳の池田幹太さんが、お元気な姿を見せながら近況と健康の秘訣を披露された。



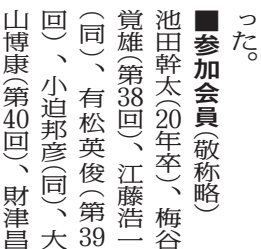
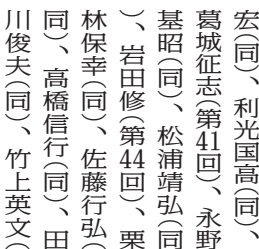
また、越智伸仁さんが著作の紹介(別稿)を行ったあと、学生のインターシップへの永年の受入協力で実績をあげた三菱化学物流社が下田学部長から感謝状を授与された。



しばし懇談のあと、恒例の校歌、寮歌、追遠歌を全員で斉唱、奥川副理事長(第50回)の中締め挨拶で懇親会は散会となった。



参加会員(敬称略) 池田幹太(20年卒)、梅谷寛雄(第38回)、江藤浩一(同)、有松英俊(第39回)、小迫邦彦(同)、大山博康(第40回)、財津昌宏(同)、利光国高(同)、葛城征志(第41回)、永野基昭(同)、松浦靖弘(同)、岩田修(第44回)、栗林保幸(同)、佐藤行弘(同)、高橋信行(同)、田川俊夫(同)、竹上英文(同)、西山喜代美(同)、姫野易之(同)、溝辺憲治(同)、宮田豊(同)、衛藤晟一(第45年)、佐藤勝峰(同)、内山茂(第46回)、浦崎貞治(同)、首藤照雄(同)、原嶋信義(同)、的



場正道(同)、遠藤孝行(第47回)、下村晃(第49回)、奥川隆生(第50回)、小橋薫(同)、野村聡(第52回)、米井晃彦(第54回)、大坪孝幸(第55回)、梅木俊宏(第58回)、上村憲吾(第59回)、田尻清司(同)、小林伸彦(第60回)、内田孝一(第61回)、浜田光徳(同)、松木正典(同)、八色宏(同)、渡辺毅(第62回)、丸尾克弘(第72回)、上野剛嗣(同)、越智信仁(院25回)、馬万強(院27回)、黒木昭博(第81回)

